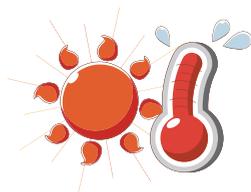




今月のグレース Monthly Grace

酒皰(しゅさ)



梅雨に入り湿度が高くなります汗ばむ時期になってまいりました。今年はワールドカップも開幕し、汗をかきながら熱い声援を送っている方も多いのではないのでしょうか。

今月のグレースは、酒皰(しゅさ)です。病名に“酒”と言う字が書いてありますが、お酒を飲んだ後のように赤ら顔なるという病気です。中年以降に多く発症します。

皮膚の症状：主に鼻、ほほ、ひたい、眉間が赤くなり、毛細血管と呼ばれる皮膚の浅いところの血管が目立ち、光沢が出てきます。症状が悪くなると、さらにニキビのような症状が出始め、鼻全体が膨れてきます(鼻瘤：びりゅう)。鼻瘤は殆どが男性です。

悪化させる因子：1066人の酒皰の患者さんを対象に悪くなるきっかけを調べた報告があります。第1位～第10位までを順に並べてみます。

日光(81%)、心理ストレス(79%)、高気温の天候(75%)、風(57%)、激しい運動(56%)、アルコール摂取(52%)、熱いお風呂(51%)、低気温の天候(46%)、香辛料(45%)、湿気(44%)・・・

湿度・気温の高い炎天下で、辛い物を食べながらアルコール摂取すると悪化しますので、特にこの時期は注意が必要です。



治療：悪化因子を極力避ける。急激な温度変化を避ける。内服治療としてビタミンB群、抗生物質が効果あります。また毛細血管拡張にはレーザー治療、鼻瘤には形成手術、レーザー治療を行います。当院ではレーザー治療や形成手術は行っておりませんので、適切な医療機関をご紹介させていただきます。